

# オーストラリアン・カリキュラムにおける保健・体育の展開 —ニューサウスウェールズ州に注目して—

安倍 大輔・山中 冨子\*

## 研究実績の概要

当初の研究計画では New South Wales 州シドニー市内の小学校を訪れ、オーストラリアン・カリキュラムの内容が New South Wales 州のカリキュラムにどのように反映され、その中でも体育 (Health and Physical Education) のカリキュラムが実際の授業でどのように実践されてるかを教員へのインタビューを含めて調査する予定であった。しかし調査で訪問する直前に、調査依頼していた小学校で襲撃事件が起きたため、外部者が小学校へ入ることが禁止されたためであった。そのため急遽、調査対象を変更することが必要になった。

シドニー市内の小学校に調査依頼のメールをした中で、Our Lady of the Rosary Catholic School から返信があり、学校の授業を見せることは出来ないとの返事だったが、体育の授業に教師の派遣を依頼している「Got Game」を紹介してもらった。

そこで Got Game の executive である Jed Kram 氏と連絡を取り、Got Game の事務所を訪問しインタビューする承諾を得た。また Got Game が授業を行なっている小学校での授業見学を依頼した。インタビュ調査はマネージャーの Rob Lennon 氏に行なった。

Got Game には30名のフルタイムの体育教師が所属しており、オーストラリアン・カリキュラムに沿った内容で、公立・私立の小学校に様々な体育用具を持参して出張し、体育の授業を行なっている。

Rob 氏にはまず New South Wales 州の体育のカリキュラムの概要についてレクチャーをしても

らった。その後、オーストラリアン・カリキュラムが New South Wales 州のカリキュラムにどのように反映されているのか、またこれまでのカリキュラムの新しいカリキュラムの関係性についてインタビューを行った。

安倍大輔・山中冨子 (2019) 「オーストラリアン・カリキュラムにおける保健・体育が目指すもの～生涯スポーツへの参加の観点から」(白梅学園大学・短期大学紀要, 第55号, 53-66) の中で、オーストラリアン・カリキュラムは2008年から検討が始まり、2013年にコンサルテーションのレポートが出され、その後、各州でカリキュラムが作られていったことは明らかにしているが、実際、New South Wales 州ではどのような過程を経て体育のカリキュラムが策定されたかまでは明らかにすることができなかった。今回の Rob 氏へのインタビューによって、2018年に New South Wales 州の体育のカリキュラム (Personal Development, Health and Physical Education) が検討され始め、インタビュー段階ではまだ新しいカリキュラムの内容が政府から示されていないので、まだ従来のカリキュラムで授業を行なっている、いわば移行期間であることが明らかになった。他の教科は既に新しいカリキュラム内容が示されており、体育がいわば「後回し」にされ、カリキュラムにおける体育の位置付けの一端が明らかに出来たことは今回のインタビューの成果の一つである。

また日本では中学校や高等学校の運動部活動では、顧問である教員に替わって、教員ではない外部指導者が技術指導をすることはあるが、Got Game のような民間企業が学校の体育の授業を担っていること日本とは大きな違いであり、そう

\*客員研究員 埼玉大学

したオーストラリアの体育実践の一端を明らかにできたことも今回の調査の成果の一つである。

今回の調査で Got Game とのコネクションが来たので今後は実際に Got Game が体育の授業をどのように行なっているのかを調査していきたい。